

やさしさ、あたたかさを発信!



南阿蘇社協だより



あなたの町の募金は、
あなたの町のために使われています。

赤い羽根共同募金は、町民の力を結ぶことで、
子ども「国」のこころを育んでいます。
おふくじ、おふくじおふくじと、おふくじで募金をします。
おふくじおふくじおふくじと、おふくじの「国」のこころを育みます。
赤い羽根は「町」を良くする「国」のこころを育みます。

じよんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金



今年も皆様の温かいご協力をよろしく申し上げます。

編集・発行 社会福祉法人 南阿蘇村社会福祉協議会

TEL 0967-67-0294 FAX 0967-67-2317

<http://www.asoyamabiko.hinokuni-net.jp/minamiaso/>

No.78

令和元年.9.30
発行

夏の福祉体験 児童・生徒のワークキャンプ事業

やさしさや思いやりの心を学ぶ。

小・中学生が福祉施設で利用者の介護などを体験するワークキャンプ事業が夏休みを利用して行われ、村内の小・中学生121名が参加されました。

地域で暮らすお年寄りや障がいのある方々との交流や介護体験等を通して、やさしさや思いやりの心を学ぶことができ、大変貴重な体験となりました。この体験を通し、一人でも多くの子ども達が南阿蘇の福祉を支える人材になればと願っています。



「やさしさ証明」
参加された生徒さんに渡しました。



体操や
楽しいゲーム

ソーマン流しますよ～

トランプじゃ
負けんばい

みんなで体操

ありがとう

なつかしい
昔話など
おしゃべりタイム

ボランティア体験を行った施設

- *特別養護老人ホーム「陽ノ丘荘」
- *特別養護老人ホーム「水生苑」
- *リハセンター「ひばり」
- *南阿蘇ケアサービス
- *南阿蘇村社会福祉協議会

ご協力ありがとうございました

押しますよ～

また、来ますね

日本赤十字会費にご協力いただきありがとうございました。

令和元年度の日本赤十字の会費募集につきましては、村内の皆様のご理解とご協力によりまして、目標額に達成することができました。納めて頂きました会費は、幅広く展開されております日本赤十字社の各種の事業に充てられます。



○令和元年度日赤会費実績表

白水地区	特別会員	普通会員	人数計	合計額
両併一		106	106	53,000
両併二		76	76	76,000
両併三		17	17	17,000
白川		165	165	165,000
吉田一	1	129	130	85,850
吉田二		91	91	56,000
吉田三		114	114	114,000
一関一	1	94	95	67,000
一関二		39	39	39,000
中松一		98	98	98,000
中松二		75	75	74,500
中松三	1	107	108	109,000
合計	3	1,111	1,114	954,350

久木野地区	特別会員	普通会員	人数計	合計額
第1駐在		66	66	66,000
第2駐在	1	50	51	52,500
第3駐在	1	64	65	65,400
第4駐在	3	78	81	84,000
第5駐在	6	83	89	95,000
第6駐在		46	46	45,500
第7駐在	1	92	93	95,000
第8駐在	7	147	154	149,500
第9駐在		29	29	29,000
合計	19	655	674	681,900

長陽地区	特別会員	普通会員	人数計	合計額
東下田		104	104	104,000
下田	1	64	65	66,000
加勢		51	51	50,500
川後田		37	37	37,000
喜多	2	84	86	91,000
栃木	1	66	67	62,500
袴野		12	12	12,000
長野		83	83	83,000
乙ヶ瀬		43	43	43,000
沢津野		32	32	32,000
黒川		33	33	33,000
下野		141	141	107,100
立野		50	50	50,000
新所		55	55	55,000
赤瀬		5	5	5,000
立野駅		38	38	38,000
合計	4	898	902	869,100

総合計	特別会員	普通会員	人数計	総計
	26	2,664	2,690	2,505,350

¥2,505,350

日赤南阿蘇村分区では、ケガや救急の時に役立つ正しい応急手当の方法などを学ぶ「救急法」や、健康増進や介護予防などの知識と技術を学ぶ「健康生活支援講習会」、災害を想定して行う「防災ボランティア研修会」、子どもに起こりやすい発熱・けいれん等の症状に対する予防と手当の仕方などを学ぶ「幼児安全法」などの赤十字講習会を開催しています。このような事業は皆様から寄せられました会費により行われております。

開催する日程などは、社協だよりやホームページ、防災無線でお知らせいたしますので、ぜひご参加ください。

〈講習会の様子〉



健康生活支援講習会



救急法



幼児安全法



ボラサポ・九州住民支え合い活動助成 (熊本地震)のご案内

この助成は、全国から寄せられた「被災した人たちに対して何かしたい」という思いが詰まった、あたたかい募金で成り立っています。

この募金をもとに、被災地における地元住民のグループ等による支え合い活動を支援することにより、被災地の復興に向けて、地域に密着したさまざまな人々が協力し合い、さまざまな活動にとともに取り組み、人々のつながりをはぐくみ、地域コミュニティの再興に向けた住民の力を高めるよう、赤い羽根は応援します。

ボラサポ・九州「住民支え合い活動助成」は、熊本地震の被災地における地元住民のグループ等による助け合い活動を支援するものです。熊本県共同募金会が助成を実施致します。

■ 助成金額

1団体の1事業についての上限額は10万円とする。

※団体の目的や活動が、政治・宗教に関わりがないこと、また、市民社会の秩序または安全に脅威を与える反社会的勢力と関わりがないことを条件とする。

■ 以下の項目にすべて当てはまったら、ぜひご応募を!

1. 熊本県内のメンバー(複数名)で構成されている非営利団体である。
2. 団体の代表と会計が決まっていて、活動を実施・報告できる。
3. 被災地域の助け合い活動を行っている。

【例えば】仮設住宅自治会が行うサロン会、子ども会が行う夏祭り、避難先の自治会が行う交流事業など。

4. これから実施する活動である。

■ 応募の受け付け時期と決定時期

- 応募受付期間
令和元年11月1日(金)～11月29日(金)
- 決定時期
令和元年12月末までに決定

■ 応募方法

「活動助成応募書」様式1、「事業実施予算書」様式2に必要事項を記入の上、南阿蘇村社会福祉協議会へ提出ください。※様式は、社協にあります。

詳しくは、社協までお問い合わせください

☎0967-67-0294

とまりがけサービス事業



ぜひ、皆さんも参加してみませんか?

75歳以上の一人暮らしの方を対象に、2ヶ月に1回とまりがけサービス事業を行っています。久木野総合福祉センターに宿泊し、夕食後はレクリエーションなどを通して、楽しい時間を過ごします。

《開催日》 令和元年10月18日(金)・19日(土)

参加される方は、10月16日(水)までにご連絡ください。

電話 0967-67-0294



インタビュー
私の生きがい

一関二区 松岡 ツイ子さん
大正15年1月8日(93歳)

- 元気の秘訣は何ですか?
- ◎ 天気が良か日は、散歩したり、草取りしたりします。
- 楽しみは何ですか?
- ◎ たまに孫が来て、話したり、踊ったりするのを見るのが楽しみです。
- ☆ 緊張しながらも、インタビューに答えてくれました。「近所と同じ年の方がおるけん、心強か」と話され、笑顔のかわいいおばあちゃんでした。

日赤防災ボランティア 高めよう。地域の防災力。 初級研修会を開催しました

令和元年9月6日(金)久木野総合福祉センターにおいて、災害時に支援活動を行うボランティアの育成を目標に「日赤防災ボランティア初級研修会」を開催しました。日赤熊本県支部より竹下先生、宮原先生の指導のもと20名の方が参加されました。ハイゼックス(災害救助用炊飯袋)を使用しての炊き出し訓練、災害時高齢者支援や読み物による過去の追体験(災害エスノグラフィー)を使用しての講習など、いざというときに役立つ知識を得ることができました。

災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。この研修会で学ばれたことを今後、地域の中で役立てていただきたいと思います。



参加された皆さん



日赤熊本県支部
竹下美子 先生



日赤熊本県支部
宮原 暢 先生



災害エスノグラフィー(読み物による過去の災害の追体験)とは...

実際に災害に遭遇した人にインタビューを行い、そのまま文字起こしをし読み物にしたものです。災害エスノグラフィーを読むことで、災害対応では自分が何をしなければならないかのイメージを掴むことができます。



ハイゼックス(災害救助用炊飯袋)とは...

災害発生時、水や食料品など不十分の時、災害現場や避難所等でハイゼックスを使った非常用の炊き出しで飯が役に立ちます。

いざという時に備える

参加された方の感想

- 炊き出し訓練の仕方、ハイゼックスを用いての炊飯は初めてでした。このような方法でご飯が炊けるのかと驚きました。又、災害時に限られた水の量の活用の仕方など大変勉強になりました。
- 災害エスノグラフィーは、体験した人の本当のお話を聞いての講習でしたので、とてもわかりやすく勉強になりました。一番大切なことは、日頃から地域の人達とのコミュニケーションをとり、信頼関係を築くことだと改めて思いました。
- 2回目の研修会でしたが、災害エスノグラフィーの内容は初めてで、今後の生活に活かしていきたいと思えます。地域、近所の方とコミュニケーションをとり、役割分担や防災力を身に付けていけたらと思います。



炊き出し訓練の様子



災害エスノグラフィー研修の様子



認知症について



認知症とは...脳の病気によって記憶力や判断力が低下することで、日常生活に支障が出ている状態をいいます。認知症を引き起こす疾患は数多くあり、その症状もさまざまです。家族みなで、地域ぐるみで支えていけるよう、認知症についてシリーズでお届けします。

違和感があるあなたへ そして、ご家族へ

生活をしているなかで、何となく違和感を覚えることがあります。あなたのその違和感は、まだ誰にもわかりません。インターネットで調べても、雑誌を読んでも、教科書を見てもおそらく正しい答えには出会えないはずです。なぜならば、その感覚を感じているのはあなた自身だからです。

どうか、恐れなくてください。家族に言えなくても、専門家に話してみてください。きっとヒントが見つかるはずです。

ここには、あなたの違和感に対処するための情報が書かれています。

どこの誰に、どのように話せばよいのかその一例を、シリーズで紹介します。

その1 あなた自身の人生

「高齢化は、年金者になったときからはじまるのではなく、私たちが生まれたときからはじまるのです。高齢化は人生を通じて進む」

(イヴァール・ロー＝ヨハンソン：スウェーデンの作家)

認知症も診断されたときからはじまるものではありません。

認知症かそうでないかは実際には線引きはできません。

あなたの人生を自然に歩むことが大切です。

少しの工夫と助けを使って。

あなたが、病院に行くのは認知症の診断のためではありません。

自分らしく生きるためのヒントを見つけるためです。

引用／社会福祉法人 東北福祉会 認知症介護研究・研修仙台センター
平成30年度厚生労働省老人保健健康増進等事業
認知症の人の家族等介護者への効果的な支援のあり方に関する研究事業

その2 認知症という病気を誤解していませんか？

認知症という病気は、私たちの人生の一部です。

認知症になっても、人生を自分らしく生きている人はたくさんいます。

むしろ、そうした人のほうが多いかもしれません。

仮に、認知症と診断されてもその日から何もできなくなるわけではありません。

相当進行するまで、

あなたの生活にとって重要な能力は失われることはありません。

認知症と、加齢によるもの忘れは

明確に区別できるものではありません。

すべてあなたの人生の連続の中にあります。

繰り返します。

認知症という病気は、私たちの人生の一部です。



その3 どのように生きるかを選択するのはあなた自身です

認知症は、見えない病気です。

精神科や神経内科、脳神経外科、老年科などであれば、どこでもよいというわけではありません。

なので、専門の医師に診てもらう必要があります。

認知症に詳しい医師は、

地域包括支援センター*や行政の高齢者福祉課、介護保険担当課等に行くとわかります。

そのときは、「最近もの忘れが気になるのです」と話をしてみましょう。

すると、専門の病院を紹介してくれたり、役立つ冊子をもらえるはずです。

地域包括支援センターのスタッフや行政の職員は、

あなたの支えになってくれるはずです。

あなたには、

あなたの人生をどのように生きていくかを選択する権利があります。

※地域包括支援センターは、介護保険にかかわる相談窓口です。

専門職がいてさまざまな情報もあります。

地域によっては「高齢者サポートセンター」「シニアサポートセンター」

などの名称のところもあります。



じぶんの町を良くするしくみ 赤い羽根共同募金のお願い

今年も全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」が10月1日～12月31日までの3か月間にわたり展開されます。赤い羽根共同募金は、事前に使いみちの計画を立ててから募金を行う、計画募金です。皆様から寄せられた募金は、翌年度、地域配分金として社会福祉協議会へ配分され、南阿蘇村の地域福祉事業に役立てられます。

平成30年度
実績額
3,602,251円

令和元年度地域配分
(南阿蘇村社協への配分)2,922,251円

令和元年度広域配分
(県下の民間福祉団体への配分)680,000円



▼南阿蘇村では共同募金配分金で下記の事業を行っています▼

- ・社協だよりの発行(年6回)
- ・みなみあそボランティアまつりの開催
- ・福祉運動会の開催
- ・一日親子ふれあい事業
- ・一人暮らし高齢者のとまりがけサービス事業

今年の南阿蘇村の目標額は

3,200,000円

です。

今年も皆様の温かいご協力をよろしくお願いします。

第12回 みなみあそボランティアまつりを開催します

ボランティア活動や福祉への理解を深める場として「第12回みなみあそボランティアまつり」を開催します。ボランティア体験発表や講演会、災害炊き出し訓練、模擬店、お楽しみ抽選会などさまざまな催しを予定しています。

皆さんの参加を
お待ちしております。

★日 時 令和元年11月10日(日) 午前9:30～

★会 場 久木野総合福祉センター

★主 催 南阿蘇村ボランティア連絡協議会、南阿蘇村社会福祉協議会

【内容】 講演会／ボランティア体験発表／筋肉バランス測定コーナー
展示コーナー／災害炊き出し訓練／アトラクション／バザー
お楽しみ抽選会など

●バザー用品募集●

バザーを実施しますので、ご家庭に眠っている生活雑貨・日用品などありましたらご協力お願い致します。

※衣類は受け付けておりません。

○持ち込み場所
久木野総合福祉センター

○連絡先
南阿蘇村社会福祉協議会(67-0294)

あとかき

暑かった夏もひと段落。朝晩は涼しく、秋の訪れを感じる季節になりました。

秋といえば、最初に思いつくのは「食欲の秋」ですね。四季の中で最も食欲が増進すると言われていています。他にも、行楽の秋や読書の秋、スポーツの秋などいろいろな秋がありますね。これを機にウォーキングなど始めてはどうでしょう。皆さんもそれぞれ気に入った「秋の遊び」を満喫してはいかがですか。季節の変わり目、体調こわされないようお過ごし下さい。

みんなみんなの みなみちゃん

